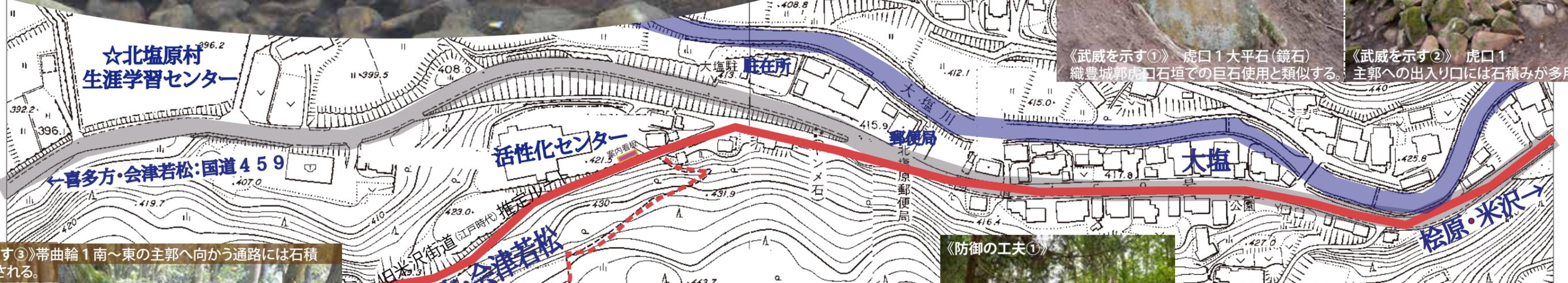


# 柏木城跡の発掘調査

轟け、蘆名の“武威”!! 伊達政宗に備えよ!!



《武威を示す①》 虎口1大平石(鏡石) 織豊城郭虎口石垣での巨石使用と類似する。

《武威を示す②》 虎口1 主郭への入り口には石積みが多めされる。

《武威を示す③》 帯曲輪1南～東の主郭へ向かう通路には石積みが多めされる。



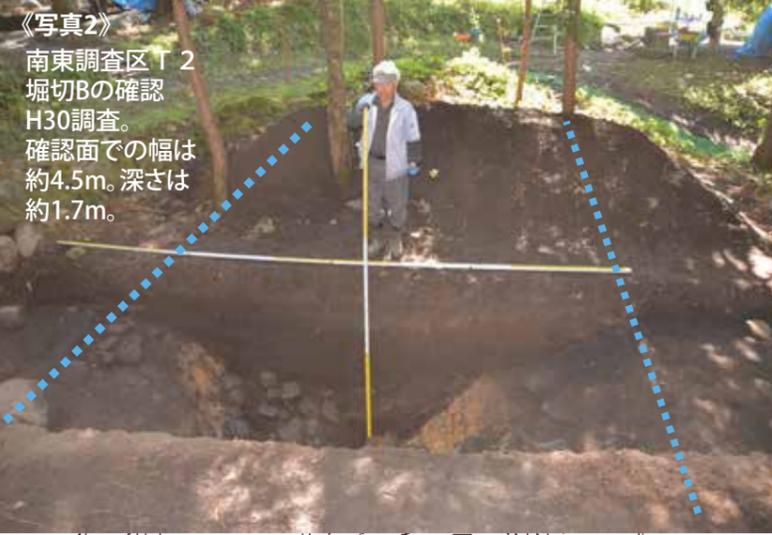
《武威を示す④》 主郭へ向かう通路(帯曲輪1南東隅)に石を積んで区画施設を作っている。



《武威を示す⑤》 主郭への玄関口となる虎口2付近に石を積み、階段状に積み、高さを出している。



《防御の工夫①》 堀切1 柏木城跡主郭 東側を大きく遮断する堀切。比高約3~5m。



《写真2》 南東調査区T2 堀切Bの確認 H30調査。確認面での幅は約4.5m。深さは約1.7m。



《防御の工夫②》 南側切岸 曲輪6から帯曲輪1までの間は斜面が急になるように整えられている。比高約12m。



《写真1》 南東調査区T1 堀切Aの確認 H30調査。確認面での幅は約3.5m。深さ約1.7m。奥の石塁と組み合わせ、高低差のある防御ラインを形成。